

Title	編集後記
Sub Title	
Author	黒田, 裕樹(Kuroda, Hiroki)
Publisher	慶應SFC学会
Publication year	2022
Jtitle	Keio SFC journal Vol.21, No.2 (2021. ) ,p.206- 206
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集 India Japan innovation potentials
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0402-2102-0206">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0402-2102-0206</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

日本の10倍以上の人口を有する超大国インド。はたして我々日本人はこの国のことをどれほど知っているのでしょうか。そして、SFCにはインドについて語れるだけの土壌がある。そのような思いから、本号の企画は清水唯一朗前編集長の時に発案されました。それが形になりました。予想していた通り、Rajib Shaw教授が特集担当委員としてとりまとめて下さった本号の特集に関する全ての論文が、私にとって驚きの内容に満ち溢れていました。過去、現在、そしてこれからの日印の関係性はもちろん、世界の在り方を考える上での基準はどうあるべきか、それぞれの論文が鋭い切り口で語りかけてきます。これを読まずして、世界を語るなかれ。それくらいの自信をもって皆様にお届けしたい一冊です。

その素晴らしい論文を称えるがごとく、今回、9つの表紙デザイン案の応募がSFC生よりありました。何れも甲乙つけ難い魅力的なものばかりで、ひとつしか採択できないシステムを恨みたいです。慶應SFC学会が主催する学術交流大会などでいつか紹介してはどうか、といった案も編集部でありませんでした。落選となった方々、本当に申し訳ありませんでした。

2022年1月25日

黒田 裕樹

KEIO SFC JOURNAL 編集長